

県議会おもしろ:

No.80

平成22年11月発行
大分県議会

編集 大分県議会事務局
大分市大手町3丁目1-1
☎097-506-5036
(ダイヤルイン)
FAX097-506-1785

題字は、大分県立佐伯鶴城高等学校 3年 山田千陽さんの作品です。

■ 県議会ホームページURL (アドレス) <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

平成22年第3回定例会	1
主な質問答弁要旨	2
出前県議会	4
県議会の動き	6



10月22日、本会議終了後に開催された議場コンサート風景：演奏「アンサンブルK」

第3回定例会の 会期を46日間に

県議会では、議会基本条例を踏まえ、議会改革と活性化を図るため、平成21年6月に議会機能強化検討協議会を設置し、議会の機能強化の具体策についての会派間の協議や意見調整を行っている。

この協議会での検討を参考にして、今年の決算特別委員会では、例年13人で構成していたメンバーを、議長と監査委員を除く40人とし、併せて、閉会中に開催していた委員会を第3回定例会の会期中に開催することとした。このため、これまで15日程度であった会期が約3倍の46日となった。

この決算特別委員会は、各常任委員会（6常任委員会）単位で設置する分科会を中心に審査することとし、分科会には所属以外の委員も参加できることから、より専門的かつ幅広い見地からの審査が可能となった。

平成22年第3回定例会

9月7日に開会、10月22日に閉会した。

開会后、議長からの諸般の報告に続き、スカイネットアジア航空の就航に伴う大分空港活性化事業費等を計上した一般会計補正予算案（補正額36億8780万7千円）など40議案と報告27件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明した。

9月13日から3日間にわたり行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、県財政の運営や大分トリニータの問題、教育改革など、県政の重要課題について、執行部と活発な議論を行った。

15日の本会議終了後、決算特別委員会が開催され、委員長には田中利明議員、副委員長には賀来和紘議員がそれぞれ選任された。

各常任委員会は、16日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行った。

22日には、知事提出議案（決算関係議案を除く）25件を原案とおりの可決・同意し、議員提出議案12件及び委員会提出議案1件を可決、請願3件を採択した。

また、この日は決算特別委員会

の全体会も行われ、その後、27日の総務企画分科会を皮切りに10月5日まで各分科会ごとに、平成21年度決算関係議案について審査を行った。審査には分科会外委員も多数参加し、毎回20人以上となった。

最終日の10月22日は、田中決算特別委員長から、審査報告があった後、平成21年度の決算関係議案等18件を可決・同意し、閉会した。

一般質問



自由民主党
桜木 博 議員

▼県財政の現状と今後の運営
▼学力向上対策



自由民主党
御手洗吉生 議員

▼高齢者問題
▼番匠川河口橋及び第二浦代トンネル



公明党
伊藤 敏幸 議員

▼観光振興
▼県立美術館



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

▼大分トリニータ
▼国道10号旦野原中判田間



自由民主党
麻生 栄作 議員

▼大道陸橋撤去に伴う渋滞対策
▼国体、体力向上、車いすマラソン



県民クラブ
賀来 和紘 議員

▼安心して暮らせるまちづくり
▼宇佐管内の漁業の再生



自由民主党
毛利 正徳 議員

▼産業戦略
▼教育行政改革



自由民主党
嶋 幸一 議員

▼一括交付金
▼大型クルーズ船の誘致と受入れ



県民クラブ
梶原九州男 議員

▼財政運営
▼地域主権への取組



自由民主党
三浦 公 議員

▼職員の再就職
▼歳入確保策



自由民主党
土居 昌弘 議員

▼地域を再生するコミュニティづくり
▼耕作放棄地対策



県民クラブ
玉田 輝義 議員

▼九州山地の生物多様性(生態系)の復元・保全

※質問項目は、一人2項目までを掲載しています。

問 経営危機に陥った大分トリニータに対する経営責任のあり方と今後の支援について

経営危機に陥った大分トリニータに対する経営責任のあり方と今後の支援について

答

今回行われた第三者調査委員会による調査は、厳正かつ詳細に行われ、当事者とのやり取りにも時間を要したようである。

お金をかけチームを強化し成績を上げることにより、高収入を得るといふビジネスモデルが逆回転したときの厳しさが、今回のトリニータが置かれていた現状だったと思う。

スポーツビジネスの難しさとはいえ、多額の累積債務を残してしまったことについての責任は免れないと思う。だからこそ、首脳陣の刷新や取りすぎた報酬の返還は当然だと考える。

そのような中で、新生トリニータが県民に真に愛されるチームとなるためには、2つの課題があると考えられる。

1つめは経営問題。チケット及びスポンサー収入が経営再建計画を下回るという厳しい状況が続く中、現状を打破するには県民からいかに支持されるかが重要であり、これまで以上に地域に根ざした活動を行っていくことが大事である。

2つめはトリニータを支える組織。現状をみると、より力強く実効性のある支援組織へと進化することが必要である。トリニータ自身に関係者の協力を得て、自力で再生していくことが大事であり、これまで以上に県民に愛される存在になるよう、トリニータの一層の奮起を願っている。

問 大分県立美術館の別府市誘致に対する県の考え方について

答 美術館をつくる場合には、地域の理解や協力はたいへん大事なことであり、また、豊かな感性や創造性に富んだ地域づくりにとって、美術館の果たす役割は極めて大きいと考えている。

現在、「大分県美術館構想検討委員会」において、美術館のコンセプトや機能、立地条件等について論議されており、また、四季が感じられる美術館、人の五感が刺激される美術館、さらには国内外から魅力を感じるような美術館など、様々な視点で検討が行われている。

いずれにしても、11月の委員会

の答申後に、県議会やパブリックコメントを通じて、県民の皆さんの意見を賜りながら、総合的に判断していきたいと考えている。

問 全国学力テストにおける大分県の結果および知事と小・中学校長との意見交換会の成果について

答 今回から抽出調査となった全国学力・学習状況調査の結果については、中期行財政運営ビジョンにおいて、学力向上を重要課題として位置づけ、力を入れてきたにもかかわらず、小・中学校とも平均正答率が全国平均を下回るという残念な結果に終わった。

そこで、大分県の学力について県民や保護者からの心配を伝え、学力向上に向け、どうしたらよいか語り合いたいという思いから、初の試みとして、知事と小・中学



校長との意見交換会を行った。

子どもたちに、基礎学力を確実に身につけさせていくことが教育の原点であり、地域間の格差があつてはならないこと等、校長先生方との思いは同じであった。また、いろいろな取組について話し合う中で、3つのことが共通の認識として確認できたと考えている。

①学習規律や生活習慣の確立：小学校低学年から学習規律や生活習慣のポイントを示し、家庭と連携して継続的に指導していくこと。
②授業力の向上：教員がお互いに授業を見合い、より良い教え方を作り上げていくこと。

③学校間の連携、ネットワークの構築：学校間の連携や学校と市町村・県との連携といったネットワークを構築して、情報を共有しながら同じ目標に進んでいくこと。校長先生方は熱心に取り組みされており、これを県全体の大きな流れとして、継続的に取り組んで定着させていくことが大切である。

問 大道陸橋の撤去スケジュールとこれまで

答 (撤去スケジュール)

来年1月17日の撤去工事着手まで残り4ヶ月となり、通行止めの期間や迂回路等について周知徹底を図るとともに、本年11月からは大道陸橋の側道を利用した仮設バスレーンの設置や安全対策工事などに着手する。また、通行止め解除後も、平成24年3月の日豊本線高架開通まで、遮断機のない踏切となる。

(これまでの渋滞対策)

ハード対策：庄の原野線や国道10号線古国府拡幅等の迂回路整備や、警察本部と連携した信号機制御及び道路情報板の整備等を完了する。

ソフト対策：朝のピーク時間帯に日豊本線を横断する車のうち、2,000台を分散・削減する目標を掲げ、時差通勤と公共交通機関利用促進の2つを「環境通勤」として推進している。

時差通勤は、市内1000の事業所から協力を頂いているほか、公共交通機関の利用促進では、パーク&ライド駐車場を3ヶ所確保し、さらに3カ所で準備を進めている。

可決・承認された議案等(議員提出)

意見書(13件)

- ▽家畜伝染病予防法の改正を求める意見書
- ▽児童虐待防止策の強化を求める意見書
- ▽土地改良事業関連予算の確保を求める意見書
- ▽地方の社会資本の早期整備を求める意見書
- ▽大蘇ダム(国営大野川上流土地改良事業)の早期完成を求める意見書
- ▽総合的な交通政策の推進を求める意見書
- ▽港湾の整備促進を求める意見書
- ▽私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書
- ▽「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書
- ▽フェリー航路に対する支援を求める意見書
- ▽新たな経済対策を求める意見書
- ▽完全な地上デジタル化放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書
- ▽尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書

可決・承認された議案(委員会提出)

- ▽緊急的な米需給調整対策を求める意見書

採択された請願(3件)

- ▽大分県の機関における行政書士制度の理解及び行政書士法の遵守の撤退について
 - ▽緊急的な米需給調整対策に関する意見書の提出について
 - ▽米価の大暴落に歯止めをかけ、需給と価格の安定を求める意見書の提出について
- 意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認等された主な議案等(知事提出)

予算関係(2件)

- ▽平成22年度大分県一般会計補正予算(第3号) ほか

条例関係(11件)

- ▽大分県議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について ほか

人事関係(3件)

- ▽人事委員会委員の選任について ほか

決算関係(17件)

- ▽平成21年度大分県一般会計歳入歳出決算の認定について ほか

その他(10件)

- ▽工事請負契約の締結について ほか



(豊後大野市・竹田市)



8月24日に豊後大野市にて開催。今回は「子育て満足度日本一に向けた豊肥地域での取組について」をテーマに、地域で様々な活動に取り組んでいる7人の方々が活動状況などの発表を行い、活発な意見交換が行われた。

県議会からは、安部議長、渕広報委員長や広報委員、地元議員など

ど計10人が出席。議員からの、行政や医療機関との協働や、どうすれば親の会の輪が広がるかなどの質問には、ボランティアとのつながりを持ちながら保健師が地域の情報を集めることが重要、障がいのある子どもを隠すのではなく外に出て行くことが大切などの意見があった。



出前県議会とは...

議員が県内各地に出向き、県議会の活動についてお知らせするとともに、県民のみならずから直接意見・要望をお聴きし、県政に反映させることを目的として開催している。

議員出前講座 (大分市立東植田小学校)

第1回



11月1日、大分市立東植田小学校で、今年度第1回目となる議員出前講座を開催した。今回受講したのは6年生107人。

講師を務めた河野議員と平岩議員が、県議会の仕組みや役割、議員の仕事や県の予算などについてミニクイズを交えながら説明した。

講師の話に真剣に耳を傾けていたようで、ミニクイズのコーナーではたくさんの子どもの手が上がっていた。また、児童から、議員定数についての質問や学校周辺の道路についての要望が寄せられた。

最後に児童代表の近広くんが「政治にとっても興味があり、毎日ニュースなどを見て考える。今日は、県議会や知事の役割などとてもわかりやすく教えてもらった。」

この講座を基に、これからの勉強に役立てたいと思う。」と謝辞を述べた。

児童の声

● 議員は大分県のために一生懸命がんばっているんだなと思った。
● 県議会が、僕たちの暮らしに大きな関係があるということがわかった。

● 大分県の予算を積み上げると、富士山よりも高いことに驚いた。
● 小学生1人あたりに約100万円も税金が使われていると聞き、もっと勉強をがんばらなければならぬと思った。

● もっとも
● つと県議
● 会のこと
● について、いろ
● んなこと
● を知りた
● いと思っ
● た。



議員出前講座とは…

議員が学校に出向き、県議会の仕組みや役割、議員の活動などについて児童・生徒にわかりやすく説明し、県議会に対する関心や県政に対する理解を深めてもらうことを目的として開催している。

第68回 県議会 56分勉強会



9月14日、大分県歯科医師会地域福祉担当理事の難波亮二氏を講師に招き、「生きる力を支える歯科医療―8020社会の実現を目指して―」をテーマに講演をいただいた。

大分県の歯科保健における4つの課題についての現状及び今後の対策や、8020運動（80歳になっても自分の歯を20本以上保とう）の推進について語った。

議員からは、フッ素塗布の安全性についての質問や、障がい児・者の受入れが可能な診療機関を増やしてほしい等の要望が寄せられた。

参加した議員は、再度「歯の大切さ」を認識したのでは？

地域主権改革推進 にかける研修会



9月17日、議場において、国の「地域主権改革」について理解を深め、また、議会機能の強化に資するための研修会を開催した。県議27人に加えて、佐伯市などの市町村議会議員4人と県職員らが参加した。

講師は総務省自治行政局行政課行政企画官の田中聖也氏。平成14年から4年間、大分県に出向、行政企画課長などを歴任された。

6月に閣議決定された地域主権戦略大綱など、昨年行われた政権交代後の地方分権に関する動きについての説明や、全国の議会改革の動向について紹介があった。その後、議員からの質問もあり、活発な意見交換の場となった。

飲んだらのれん

飲酒運転根絶県民運動
街頭啓発運動を実施

10月20日、大分市の県庁前の国道197号交差点前で、飲酒運転の根絶に向けた街頭活動を行った。

この日は、議員や県職員ら約70人が参加し、通勤途中のドライバーたちに飲酒運転根絶を呼びかけた。



※県では、毎月20日を「飲酒運転根絶県民運動の日」と定めている。



全国議長会 第137回定例総会開催

10月26日、大分市で第137回全国都道府県議会議長会定例総会が開催された。

総会では、安部議長が総会議長に選任された後、「平成23年度政府予算編成に関する提言」として地域主権改革の推進など36件が決定されたほか、地方議会議員年金制度の見直しに係る情勢報告や意見交換等が行われた。



《表紙の写真》 議場で初のコンサート

10月22日、本会議閉会后、議場において、大分県立芸術文化短期大学の卒業生「アンサンブルK」（4人）による弦楽四重奏コンサートが開催された。
「県議会を身近に感じて欲しい」という思いから、安部議長が提案し、初の開催となった。

滝廉太郎の「荒城の月」や葉加瀨太郎の「情熱大陸」など4曲が演奏され、議場に残った傍聴者や議員が、四重奏の織りなす音色にしばし耳を傾けた。
ふだん、厳格な雰囲気議場は、優しい穏やかな雰囲気漂う空間と化した。

県議会今後の動き

◆平成22年第4回定例会の日程(予定)

- 11月26日(金) 開会
- 11月30日(火) 本会議
- 12月6日(月)～8日(水) 本会議(一般質問)
- 12月9日(木) 常任委員会
- 12月14日(火) 閉会

お知らせ

傍聴のご案内

- 本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、日程を確認の上、当日、県議会受付においでください。
- 本会議場の傍聴については、盲導犬等の同伴ができます。
- 手話通訳又は要約筆記を希望される方は、本会議の前日までに、シールエトインダクター(耳掛け型補聴器)の貸し出しを希望される方は2日前までにお申し込みください。

県議会ホームページ

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

大分県議会 <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

お問い合わせは県議会事務局各課まで

- 【総務課】 議会庶務、情報公開など ☎ 097-506-5019
- 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など ☎ 097-506-5022
- 【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など ☎ 097-506-5035

点字版・音読版
「県議会おおいた」のご案内
本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで